

決算審査特別委員会

締めくくり質疑者一覧表

1 0 月 1 7 日 (金)

目 次

◎締めくくり質疑 10月17日(金)

1	自由民主党浜松	齋藤和志議員		1
2	市民クラブ	鈴木真人議員		2
3	公明党	黒田豊議員		4
4	創造浜松・国民民主党浜松	森田賢児議員		5
5	日本共産党浜松市議団	酒井豊実議員		6
6	浜松市政向上委員会	鈴木恵議員		7

質疑日	令和 7 年 10 月 17 日 (金)			質疑方式	分割方式
質疑順位	1	会派名	自由民主党浜松	氏名	齋藤 和志
項 目 (款・項等)		内 容			答弁者の職名
1 令和 6 年度決算 における財政運営 の総括について		令和 6 年度決算について、財政運営全体の評価と課題 認識を踏まえ、市長としてどのように総括しているのか 伺う。			中野市長
2 財政構造と財政 調整基金について		本市の財政構造と財政調整基金について、政策的観点 から、以下伺う。 (1) 経常収支比率と構造的課題について。 (2) 財政調整基金と持続可能な財政運営について。			鈴木財務部長
3 中心市街地活性 化施策調査研究事 業について		計画性と機動性の両立が課題と認識される。そこで、 以下伺う。 (1) 面的な展開に向けたグランドデザインの策定につい て。 (2) ソフト・ハード一体型の機動的まちづくりに向けた組 織改正を含む検討状況について。			北嶋産業部長
4 動物園の魅力向 上について		令和 6 年度の入園状況等を踏まえ、教育的役割や園の 魅力を高めるための取組について、以下伺う。 (1) 動物園の教育的役割強化の検討について。 (2) 動物展示・獣舎の課題について、国際的な方針を踏ま えた検討と整理について。			中村花みどり 担当部長
5 不登校児支援推 進事業について		令和 6 年度の実績を踏まえ、学びの場の体制整備や支 援の質向上に向けた取組状況について、以下伺う。 (1) 多様な学びの場の体制整備について。 (2) 支援員の専門性向上と、家庭や地域との連携強化につ いて。			吉積学校教育 部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和 7 年 10 月 17 日 (金)			質疑方式	分割方式
質疑順位	2	会派名	市民クラブ	氏名	鈴木 真人
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 スクールソーシャルワーカー (S SW) について	スクールソーシャルワーカー (以下「S SW」という。) は、学校に福祉的視点を導入し、家庭や地域との連携、各関係機関や専門家との協力体制の強化を図り、不登校やいじめ、問題行動の未然防止や早期発見、早期解消を目指すために学校に派遣されている。 令和 6 年度時点で 20 名の体制となっているが、勤続年数を確認すると半数の 10 名が勤続 2 年以下となっている。 S SWは、社会福祉士、精神保健福祉士が担っており、社会的人材需要が高く人材確保も課題となっている一方で、育成した S SWが退職となれば大きな損失になると危惧している。 そこで、以下伺う。 (1) S SW20 名のうち、半数が勤続 2 年以下である現状に対する認識を伺う。 (2) 年度途中で退職となった場合の対応や、S SWを必要としている児童・生徒や保護者への影響について伺う。 (3) S SWが退職とならないように、処遇改善などの対策はとってきたのかを伺う。				野秋教育長
2 学校給食について	本市が設定する食材費では、国が定める栄養摂取量の基準値を満たせていない状態が続いている。令和 5 年度から令和 6 年度にかけて、全国の消費者物価指数は 3.0%上昇しているが、一方で本市における児童・生徒数は昨年 5 月 1 日現在、6 万 317 人から 5 万 9188 人へと 1129 人減少し、国の交付金による支援は約 712 万円の増加にとどまった。決算審査の中でも、食材費は前年度比約 1.3%増となったが、いまだ物価上昇に見合っていない状況との答弁であった。 限られた予算の中でも出来る対策があったと考える。 (1) 再資源化収入の有効活用について 学校給食で提供されているアルミパック米飯の容器は、再資源化による売却益が「税外収入」として本市の歳入になっているが、以下伺う。 ア このアルミパック再資源化による収入について、実際にアルミパック米飯を提供している児童・生徒へ還元することは検討されたか。 イ 物価高騰の中で、給食費を維持しながら栄養価や食材の質を確保するためにも、再資源化収入を有効に活用することができるのではないかと考えるが、市の見				吉積学校教育部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

項 目 (款・項等)	内 容	答弁者の職名
	解を伺う。 (2) 提供方式の違いによる差額の補填について 提供方法の違いにより米飯価格に、約 37 円の差額が生じているとされている。この差額を補填し、アルミパック米飯の学校でも同等の栄養バランスや量を確保することが必要ではないか。 この差額に対する児童・生徒の栄養管理における課題と、その改善に向けた対応について取り組まれたか伺う。	

質疑日	令和 7 年 10 月 17 日 (金)			質疑方式	分割方式
質疑順位	3	会派名	公明党	氏名	黒田 豊
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 児童・生徒の栄養状態と栄養不良への対応について	児童・生徒の健康診断事業において栄養状態の確認を行ったところ「疾病・異常者」が判明した。 令和 6 年度は、小学生男子 398 人、女子 273 人、中学生男子 323 人、女子 207 人であったが、この人数は、肥満傾向と栄養不良を合わせた数字である。ここで問題は栄養不良の児童・生徒の数が不明であることである。栄養不良の児童・生徒個人が特定でき、その原因が分からないと対策も打てない。 虐待や貧困が背景にあるのではないかと心配することから、以下伺う。 (1) 疾病・異常者のうち、栄養不良の児童・生徒の人数を伺う。 (2) 栄養不良の児童・生徒の家庭に訪問し、状況確認・保護者への聴き取り等を行なっているか伺う。 (3) 栄養不良の児童・生徒への対応について伺う。				野秋教育長
2 多頭飼養への対応と動物愛護事業の新たな展開について	浜松市動物の愛護及び管理に関する条例で規定されている犬又は猫の多頭飼養の届出が必要な 10 頭以上を飼養している件数は 25 件、そのうち、20 頭以上飼養している件数が 5 件あることが判明した。しかし、これは氷山の一角であり、報告義務を果たさない者がいることは容易に考えられる。また、令和 6 年度の猫の引き取り頭数は 231 頭だが、多頭飼育者の増加により動物愛護教育センターで保管できる頭数である 31 頭をはるかにオーバーする引き取り申請が発生する可能性もある。そこで以下伺う。 (1) 多頭飼養の報告義務を果たさない者は 3 万円以下の過料に処されるが、そのチェック体制はどうか伺う。 (2) 重要なことは多頭飼育崩壊をいかに予防するかであるが、その体制は十分であったか伺う。 (3) 引き取り頭数がキャパシティを大幅にオーバーする可能性があったが、その対策を伺う。 (4) 人と愛護動物との共生は、動物愛護管理法や浜松市動物の愛護及び管理に関する条例の制定などにより、命あるものとしてより厳格に規定され大きく時代が変わっている。そのため、動物愛護事業の新たな展開が必要と考えるが検討したのか伺う。				板倉保健所長 〃 〃 山名副市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和 7 年 10 月 17 日 (金)			質疑方式	一括方式
質疑順位	4	会派名	創造浜松・ 国民民主党浜松	氏名	森田 賢児
項 目 (款・項等)		内 容			答弁者の職名
1 令和 6 年度財政 状況について		令和 6 年度決算では、財政力指数が 0.81 で横ばいとなる一方、義務的経費の増加により経常収支比率が 93.3%に上昇し、財政の硬直化が進んでいる。 人口減少や扶助費の増大などにより、今後は一層厳しい財政環境が見込まれる中、財政の健全性を維持しつつ、柔軟性の確保に努めた取り組みについて、以下伺う。 (1) 義務的経費の増加という構造的課題に対応しつつ、投資的経費を含めた歳出全体の見直しをどのように進めたか伺う。 (2) 財政力指数や経常収支比率の健全性を維持しながら、財政の柔軟性を確保するために行った取り組みについて伺う。			鈴木財務部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和7年10月17日（金）			質疑方式	分割方式
質疑順位	5	会派名	日本共産党浜松市議団	氏名	酒井 豊実
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 ふるさと納税について	ふるさと納税（寄附金）の制度によって、昨年度のふるさと納税の収支は差し引き約10億円の赤字（出超）になった。 この事態は、10年間では100億円以上の損失になる。 (1) 当事業の経費細目の決算と、返礼品に関する昨年度の取り組みを伺う。 (2) 昨年度におけるふるさと納税による個人市民税の税額控除などの状況について伺う。				中村観光・ブランド振興担当部長 村上税務担当部長
2 職員の長時間残業について	気候変動下の豪雨・風水害が頻発し、災害現場対応・復旧工事が連続した天竜土木整備事務所や、大型施設建設工事などを抱えるスポーツ振興課を初めとして、職員の長時間残業が常態化している。健康と命に係わる事態だと考えるが、この間の対応と課題を伺う。				田中総務部長
3 中山間地域振興費について	天竜区役所に中山間地域振興も担当する副市長が着任し、中山間地域振興計画が策定された。しかし、中山間地域振興費の決算額が前年度より3100万円（▲15%）の大幅な減少となり、Welcome集落事業での移住者受入れは半減し、移住促進空き家活用事業は約5分の1に減少した。 このような状況をどう見ているか伺う。				水谷市民部長
4 企業立地支援事業費補助金について	(1) 企業立地支援事業費補助金の支出で、奨励費補助金として固定資産税・都市計画税・事業所税の相当額である約1億8110万円が大企業1社に支出されている。いつ支出したのか伺う。 また、当補助金は昨年度が5年間の最終年度だが、補助金合計額を伺う。さらに、その目的、効果を伺う。 (2) 当補助金の支出は、現在、静岡地方裁判所で係争中の行政訴訟に関係があり、問題であると考えが見解を伺う。				北嶋産業部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和 7 年 10 月 17 日 (金)			質疑方式	分割方式
質疑順位	6	会派名	浜松市政向上委員会	氏名	鈴木 恵
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 基金運用状況について	基金運用状況について、伺う。 (1) 令和 6 年度基金残高、そのうち債券の保有割合、その運用益、含み損はそれぞれいくらか。 (2) 全国的に問題となった保有債券の価格下落の含み損、売却損への対応はどうであったのか。				袴田会計管理者
2 企業版ふるさと納税について	令和 6 年度の企業版ふるさと納税は、23件、3940万円であり、現金以外に6700万円相当の物納があった。金額の多い事業のベスト 3 は何か。また決算書には、現金のみの記載であるが、物納の場合、会計上の取扱いはどのようなになっているのか。				工藤企画調整部長
3 産業振興について	(1) スタートアップ地域連携事業は、これまでの課題を踏まえて、市内に拠点に置く、市内企業と連携することを重視する方向へと転換してきた。その成果はどうであったのか、評価はどうか。企業誘致事業の利用はあったのか。 (2) 工業、商業、農業、観光業が、それぞれ関連し、6 次産業化、アグリツーリズムなど新たな産業を作ってきている。課をまたぐ事業に対して、産業部として、どのような対応をしてきたか。				北嶋産業部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。